

2015

ANNUAL REPORT

アクサ損害保険の現状



アクサダイレクト

redefining / standards

AXAは6年連続世界NO.1の保険ブランド*です

AXAは1817年にフランスで生まれ、世界59の国と地域、約1億300万人のお客さまから信頼をいただいている世界最大級の保険・資産運用グループです。

*インターブランド社[BEST GLOBAL BRANDS 2014]より

S&P 保険財務力格付け

A+

世界

59

の国と地域
で事業展開

数値は2014年 AXAグループ実績

※ 換算レート

総売上、アンダーライニング・アーニングス、純利益:
1ユーロ=¥140.51 (2014年平均)

運用資産総額:

1ユーロ=¥145.08 (2014年12月末)

※ アンダーライニング・アーニングス (基本利益) とは、アジャステッド・アーニングス (調整後利益=非恒常的取引による影響額とグループ全体の営業権償却額を除いた純利益のグループ持分) から株主に帰属するネット・キャピタルゲインおよび2001年9月11日の米国同時多発テロによる影響を除いたものです。

※ 標記の格付けはアクサ損害保険の格付けではありません。2015年6月1日時点のAXAグループの主要な子会社に対する格付機関の評価であり、保険金支払等について保証を行うものではありません。また、将来的には変化する可能性があります。なお、上記の格付機関(スタンダード&プアーズ・レーティング・サービス)は、日本において金融商品取引法第66条の27に基づく登録を行った信用格付業者ではありません。

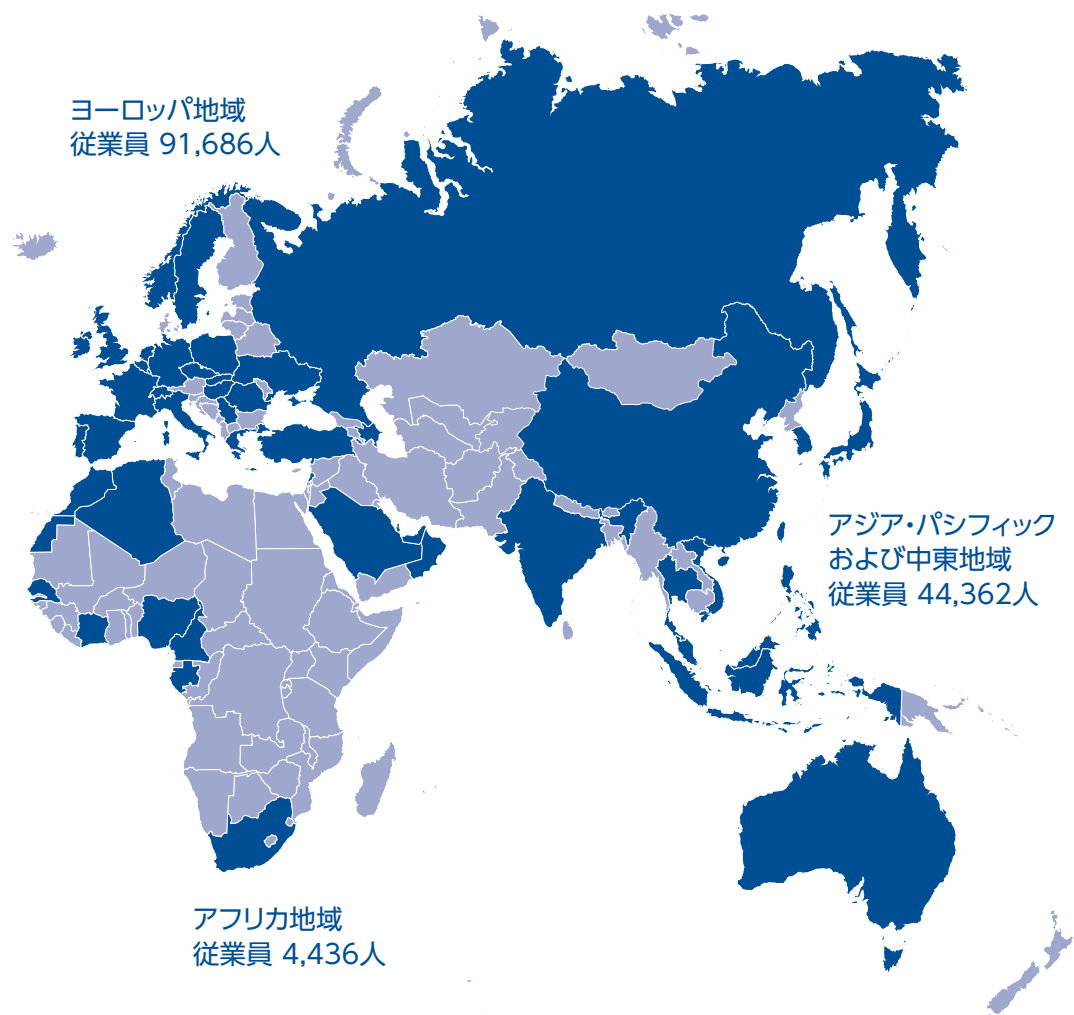


世界に
約 **16万1,000**人
の従業員

運用資産総額
約 **185兆2,658**億円
(約1兆2,770億ユーロ)

世界に
約 **1億300** 万人
のお客さま

総売上
約 **12兆9,268** 億円
(約920億ユーロ)



アンダーライニング・アーニングス(基本利益)

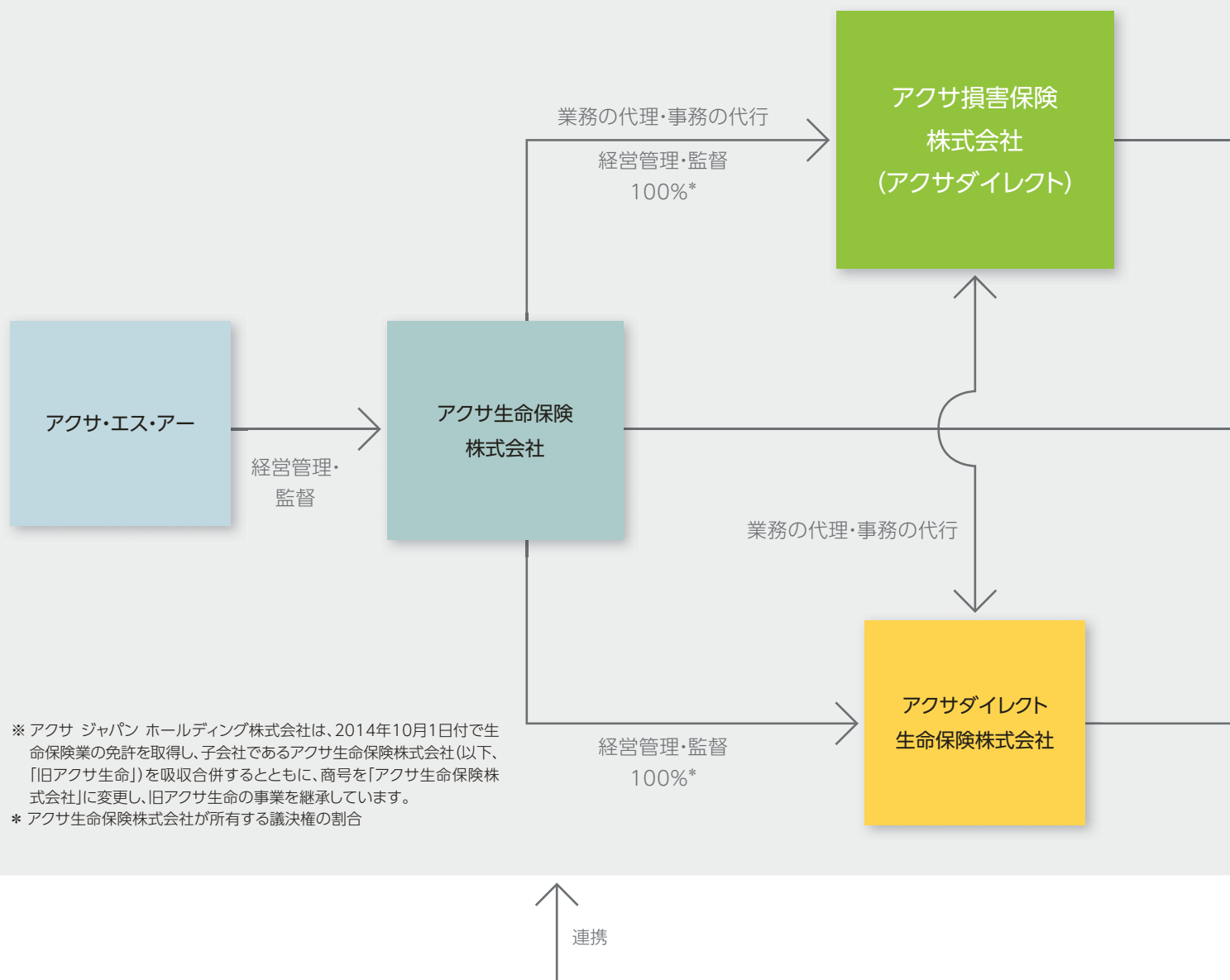
約 **7,165** 億円
(約51億ユーロ)

純利益

約 **7,025** 億円
(約50億ユーロ)

AXAグループの日本における事業展開

AXAグループは日本において、保険、資産運用、アシスタンスなど、
 フィナンシャル・プロテクションに関するさまざまな分野で事業を展開しています。
 保険事業では、アクサ生命、アクサダイレクト生命、アクサ損害保険の3社が「アクサ ジャパン グループ」を形成し、
 相互の連携を深めるとともに、その他のAXAメンバーカンパニーと密接に連携しながら、
 お客様をリスクからお守りするための商品・サービスをご提供しています。



※ アクサ ジャパン ホールディング株式会社は、2014年10月1日付で生命保険業の免許を取得し、子会社であるアクサ生命保険株式会社(以下、「旧アクサ生命」)を吸収合併するとともに、商号を「アクサ生命保険株式会社」に変更し、旧アクサ生命の事業を継承しています。
 * アクサ生命保険株式会社が所有する議決権の割合

その他のAXAメンバーカンパニー

資産運用サービス

- アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
- アライアンス・バーンスタイン株式会社

不動産投資・資産管理サービス

- アクサ・リアル・エステート・インベストメント・マネージャーズ・ジャパン株式会社

アシスタンスサービス

- アクサ・アシスタンス・ジャパン株式会社

損害保険業

損害保険業免許に基づく保険の引受け

保険業法第3条第5項に係る保険の引受けを行っています。

資産の運用

保険料として収受した金銭等の資産の運用として、主に有価証券投資等を行っています。

他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行

保険業法第98条第1項第1号に基づき、他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行を行っています (アクサダイレクト生命保険株式会社の保険業に係る業務の代理および事務の代行等)。

生命保険業

生命保険業免許に基づく保険の引受け

保険業法第3条第4項第1号、2号、および3号に係る保険の引受けを行っています。

資産の運用

保険料として収受した金銭等の資産の運用として、主に貸付、有価証券投資、不動産投資等を行っています。

貸付業務 資産運用の一環として、企業・個人向けの貸付やコールローンを行っています。

有価証券投資業務 資産運用の一環として、有価証券(外国証券を含む)投資、有価証券の貸付を行っています。

不動産投資業務 資産運用の一環として、事業用ビル等の不動産投資を行っています。

付随業務

国債等の引受け

保険業法第98条第1項第3号に係る国債などの引受けを行っています。

他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行

保険業法第98条第1項第1号に基づき、他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行を行っています (アクサ損害保険株式会社の保険業に係る業務の代理および事務の代行等)。

子会社とした会社の経営管理

アクサダイレクト生命保険株式会社、アクサ損害保険株式会社、その他の保険業法の規定により子会社とした会社の経営管理を行っています。

生命保険業

生命保険業免許に基づく保険の引受け

保険業法第3条第4項第1号、2号、および3号に係る保険の引受けを行っています。

資産の運用

保険料として収受した金銭等の資産の運用として、主に有価証券投資等を行っています。

他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行

保険業法第98条第1項第1号に基づき、他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行を行っています (アクサ損害保険株式会社の保険業に係る業務の代理および事務の代行等)。

「ダイレクト」型損害保険ビジネスを推進する起業家精神のもと お客さまに「選ばれる企業」を目指し、さらなる革新を続けます



日頃よりアクサ損害保険をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。本ディスクロージャー誌をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、1999年7月に直販方式によるリスク細分型自動車保険『アクサダイレクト総合自動車保険』を販売開始し、2014年12月末には保有契約件数が100万件に到達いたしました。これもひとえに、多くの皆さまのご支援の賜物と深く感謝いたします。

最近の市場概況についてご説明いたしますと、当社の主力商品に関連する自動車市場においては、昨年4月の消費増税の影響が長引いて販売回復が遅れ、新車販売台数が4年ぶりに対前年比でマイナスを記録しました。2015年度には軽自動車税の引き上げが実施され、エコカー減税の基準が厳しくなることにより、ガ

ソリンエンジン車を中心に「実質増税」になる車種も多くなって、今後の逆風も予想されます。ダイレクト自動車保険の市場においては、新規参入企業が積極的な広告投資もしくは低価格戦略を採用し、引き続き厳しい競争が続いています。損害率、事業費率の観点では、昨夏は大型台風による災害の発生で損害率への影響がありましたが、そうした自然災害のみならず、車両修理コストや資材・サービスコストにおいて進行するインフレーションが影響を及ぼすことも懸念されます。

このような環境下において、昨年の当社の元受正味保険料は自動車保険の新契約件数の増加等により、前年同期比8.7%増の45,964百万円となり堅調な成長を実現しました。自動車保険保有契約件数は、2015年3月末において約102万件に上っております。また、正味損害率は前年同期比3.2ポイント

低下し63.6%、正味事業費率は21.9%と、適切に業務管理を行ったことで、経常利益は前年同期比569百万円増の2,910百万円、純利益は2,594百万円を計上しました。この結果、2015年度において、創業初となる株主配当ができる見通しとなりました。また、ソルベンシー・マージン比率は840.5%となり、引き続き健全かつ強固な財務基盤を維持しています。

昨年来、当社で実施した取組みをいくつかご紹介いたしますと、お客さま向けサービスにおいては、お客さまとの重要なコンタクトチャネルである公式ウェブサイトの全面リニューアルを実施し、お客さまの利便性向上を図りました。また、ロードサービスの名称を『アシスタンスサービス』から『AXAプレミアムロードサービス』に改め、従来以上に対応スピードを重視し、お客さまにとってより利用しやすいサービスの提供を開始すると共に、広島（中国オフィス）、静岡（東海道オフィス）にフィールド・サービス拠点を開設し、損害サービス網の強化を図りました。また、販売戦略の一環として、バイク保険とペット保険において、有名ブランドとの業務提携を行い、新たなビジネスモデルにも挑戦しています。

今後もお客さま、社員、株主、パートナー企業など当社ステークホルダーの皆さまから「選ばれる企業」となるために、本年は収入

保険料規模で500億円を見据えながら利益ある成長を続けると共に、真のお客さま満足の実現に惜しみなく投資を続けてまいります。法令遵守、情報セキュリティや顧客保護などを徹底し、経営基盤のなお一層の安定と強化を図りながら、「ダイレクト」型損害保険ビジネスを推進する起業家精神のもと、販売方法、商品・サービス、保険料設定等において、さらなる革新を続けていく所存です。また、インターブランド社の評価により6年連続で世界No.1の保険ブランドとなった世界有数の保険・金融グループであるAXAのメンバーカンパニーであることを当社固有の強みとして、グループが持つさまざまな知見とノウハウをさらに活用していきます。お客さまに「頼れるね」と言っていただけるような、日本に根付いた独自性のある価値の創出に向けて、より一層の努力を続けてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長兼CEO

藤井 靖之



CONTENTS

01 AXAグループの Key Figures	02-03 AXAグループの 日本における 事業展開	04-05 CEOメッセージ
	07-11 経営戦略 Ambition AXA	12-13 CR活動
	14-32 I アクサ損害保険の現況	14 1 事業の経過および成果等 17 2 内部統制システム構築の基本方針 18 3 コンプライアンス(法令遵守)の体制 18 4 リスク管理の基本方針 20 5 勧誘方針 20 6 お客さまに関する個人情報の取扱いについて (プライバシーポリシー) 22 7 利益相反管理体制 22 8 保険金等支払管理態勢 23 9 反社会的勢力に対する基本方針 23 10 監査・検査体制 24 11 主な取扱商品 26 12 お客さまサービス 28 13 保険のしくみ
34-46 II 業績データ 当社の主要業務に関する事項		
	47-55 III 業績データ 財産の状況	
56-60 IV 会社概要	61-63 損害保険用語の解説 (50音順)	